

# ママたちの震災 ⑧

## 育児相談・サロン開設：

▶1774

3・11 その時 そして

震災から約2カ月、助産師たちが育児の相談室を立ち上げた—伊藤怜子さん提供



震災から約2カ月。大船渡市中心部にあるショッピングセンターに育児で悩みを抱える母親の「駆け込み寺」ができた。「母子相談室にここに」。震災前から育児相談のボランティア活動をしてきた地元のベテラン助産師4人が立ち上げた。

相談室が開かれるのは月に2回。被災地にはがれきが残り交通事情が悪い中、内陸の助産師も応援にかけつけた。中心メンバーの伊藤怜子さんは「お母さんたちにとって、赤ちゃんの発育や成長のことが一番の気がかり。でも、震災で身内を亡くして、育児の悩みを相談する相手を失っていた」と振り返る。

育児の相談にのるだけではなく、相談室にベビーバスを置いて赤ちゃんの湯あみの仕方も教えた。

秋には、東京の支援団体のサポートを受け、育児中の母親が集い交流する場としてママサロンをスタートさせた。ただ、「はたしてお母さんたちが来るだろうか」と伊藤さんは不安だった。仮設住宅を回り、サロン開設を知らせるチラシを配った。

「街を歩いても赤ちゃんをだっこしているお母さんの姿を見かけなかった。街が壊れて廃虚になってしま